

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、(【小】形や色などの)造形的な視点で捉え、(【小】自分のイメージをもちながら)(【中】自分としての)意味や価値をつくりだすこと

例えば、中学校2年生の題材「情報をわかりやすく伝えよう(ピクトグラムをつくらう)」では…



伝えようとする情報を文字に代わって視覚的な図で表現する。

教師が「見方・考え方」を意識しないと…

伝えたい内容を多くの人にわかりやすく伝えることを考えて構想しよう

どのように工夫したらいいのかな…



子供たちは、これまでの経験を基に、それぞれの見方・考え方で、図を考え、配色していた。

子供が「見方・考え方」を働かせると…

国籍や年齢を問わず、伝えたい内容が一目でわかり、形や色彩が見る側にどのようなイメージや効果をもたらすかを考えて表現しよう。

実際の形よりも単純化した形にした方が伝わるかも…
さわやかな配色にすれば、より印象深く効果的に見る人に伝わるかも…



子供たちは、伝える相手や内容、設置場所、社会との関わりなどから工夫して考える。

どのような美術的な見方・考え方をしているのか…

子供たちの問い: 伝えたい内容を一目で印象深く伝えるには、形や色彩をどのように表現するといいいかな…。

実際の形よりも単純化した形にした方が伝わると思う。
角をまるくした方がやさしいイメージになりそうだ。
(主に「形」に着目して)

さわやかな配色にすれば、やさしい印象に伝わるだろう。
色の面積も、見る人の印象に大きく影響しそうだなあ。
設置する場所、情報に合う色はどんな色がいいかな。
(主に「色彩」に着目して)



見る人にただ単に伝えるだけでなく、見る人が抱く印象や感情などの心の動きを考えながら、発想や構想を繰り返していく子供の学びの姿

例えば、「振り返り」の場面で、自分の考えを振り返ることで

見る側の視点で図案を発想することで、より印象深く伝わるような図案ができたぞ。
実際に、街のどこかで使ってほしい！そのためには、どうしたらいいのかな。先生に相談しよう！
他の図案も考えてみたいな。

子供たちは、美術的な見方・考え方をより意識して働かせるようになる。